



かんたん

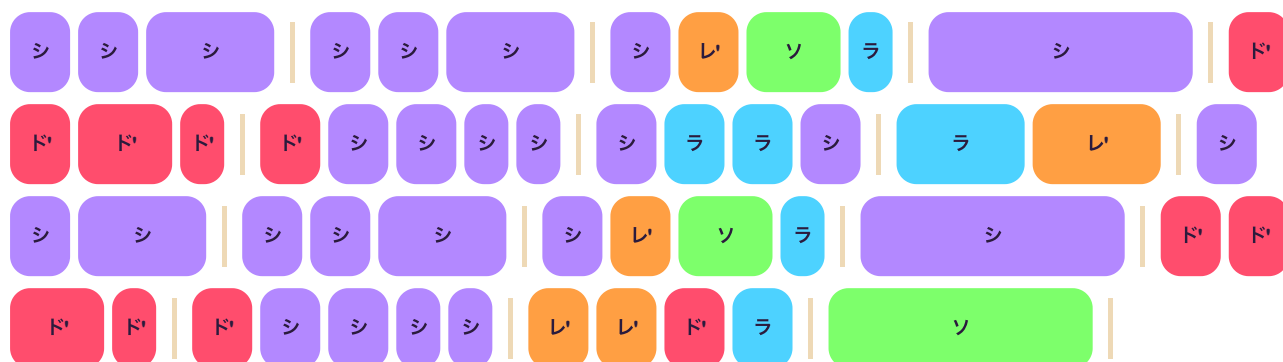
リコーダーで「ジングルベル」を吹こう

Jingle Bells

リコーダー「ジングルベル」のドレミ楽譜。初心者にもかんたん、音ごとの運指つき。

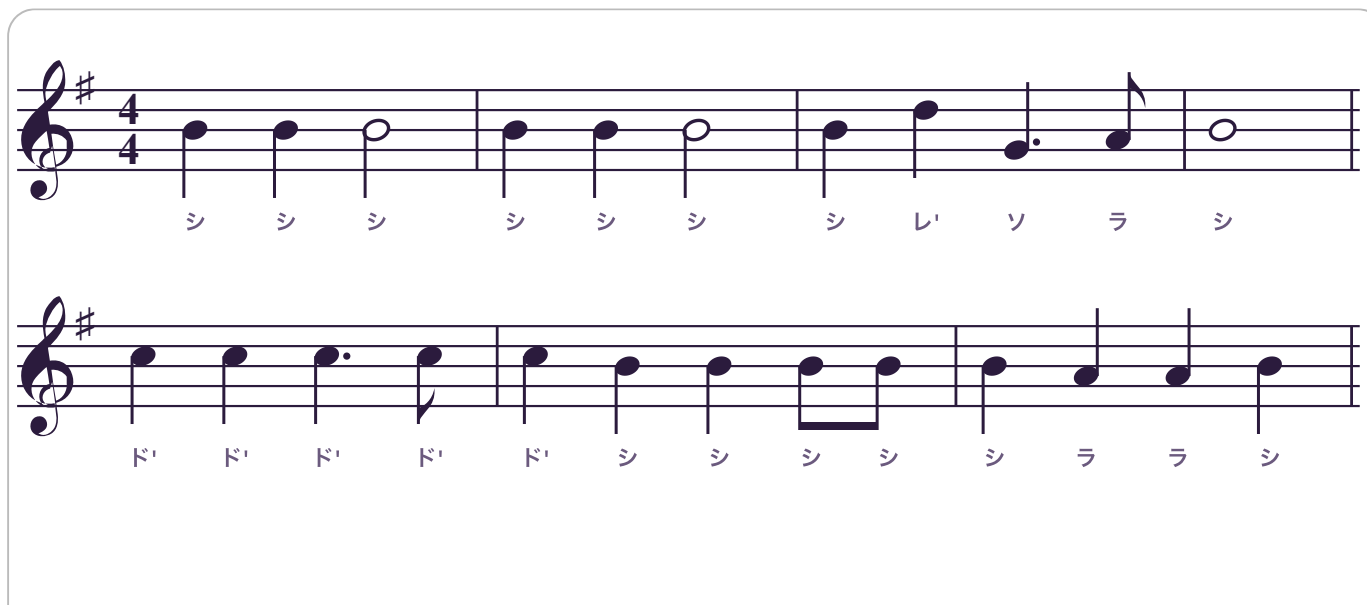
1857年にジェームズ・ロード・ピアポントが作った冬の名曲です。ここではサビ全体を吹きます。シがたくさん続くので、リズムを保つ練習になります。使う音は5つ：ソ・ラ・シ・高いド・高いレ。下に、リズムつきの音と、それぞれの運指があります。

音



長いブロックほど長い音です。線は小節の区切りです。

五線譜





同じ曲を五線譜で。下に音の名前があります。

ドレミで書いた音

シ シ シ シ シ シ シ レ' ソ ラ シ ド' ド' ド' ド' ド'
 シ シ シ シ シ ラ ラ シ ラ レ' シ シ シ シ シ シ
 レ' ソ ラ シ ド' ド' ド' ド' ド' シ シ シ シ レ' レ'
 ド' ラ ソ

「'」は高い音のしるしです：高いド・高いレ。ソプラノリコーダー用です。

運指

<p>親指</p> <p>ソ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2・3番の穴をふさぐ</p>	<p>親指</p> <p>ラ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1・2番の穴をふさぐ</p>	<p>親指</p> <p>シ</p> <p>親指の穴をふさぐ、1番の穴をふさぐ</p>	<p>親指</p> <p>高いド</p> <p>親指の穴をふさぐ、2番の穴をふさぐ</p>
--	--	--	--



「再生」をタップすると音が聞けます。カードをタップすると吹き方が見られます。黒い穴はふさぎます。左手が上（親指は裏、1～3番の穴）、右手が下（4～7番の穴）です。

コツ

- 1つの音ごとに「トゥ」と舌をつかって吹きましょう（タンギング）。同じ音が続いても、1つずつはっきり聞こえます。
- スープをさますように、やさしく息を入れましょう。強すぎると、ピーッと1オクターブ上の音になります。
- 指先ではなく、指のはら（やわらかいところ）で穴をふさぎましょう。すき間から息がもれません。
- 高いレは親指の穴をあけて、2番の穴だけをふさぎます。左手の中指でささえます。
- 高いドは、人さし指（1番）をはなして、親指と2番の穴をふさいだままにします。